「チャレンジ アンダー2,000みえ」について

三重労働局では2019年1月から12月までを実施期間として、「チャレンジアンダー2,000みえ」を展開しています。

この推進運動は、三重県内の労働災害について、令和元年中に死傷者数（死亡災害と休業４日以上災害）2,000人未満の達成を目指すものです。

アンダー525 津・鈴鹿・亀山
～各事業場における労働災害ゼロの達成、定着を目指して～

津労働基準監督署では、アンダー525　津・鈴鹿・亀山※をスローガンとして2019年1月から12月までの死傷者数「年間５２５人以下」を目指す取組を展開しています。

※アンダー525 津・鈴鹿・亀山について

三重労働局の死傷者数の削減目標が、平成２９年の死傷者数から概ね７．５％減少させることを目標としているのを受け、津労働基準監督署においても同様に、平成２９年の死傷者数５６８人から概ね７．５％減の５２５人を目標として設定しています。

【取組み重点事項について】

当署管内において、事故の型別で転倒災害が多く（平成30年の死傷災害のうち転倒災害が21.6%を占めている）、また、熱中症による休業４日以上の災害発生件数は、ここ数年１～３人で推移していましたが、平成30年の発生件数は7人と大幅に増加していることから転倒災害防止と熱中症予防への取組みが重要です。

●熱中症予防対策（ＳＴＯＰ！熱中症　クールワークキャンペーン）

職場における熱中症予防対策の一層の推進を図るため、５月から９月までキャンペーンを実施しています。各事業場で、熱中症予防に取り組みましょう！

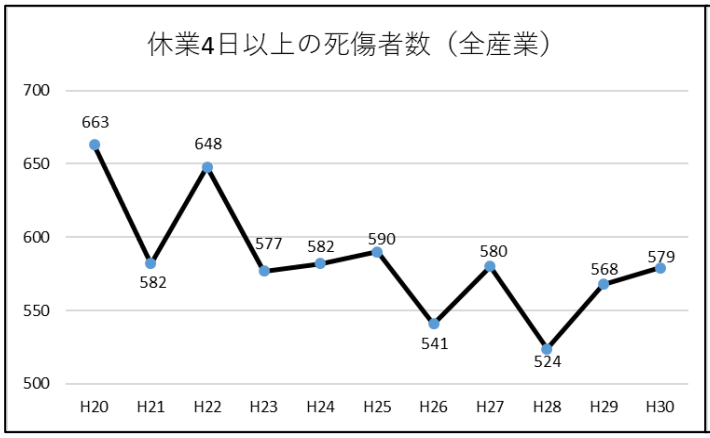
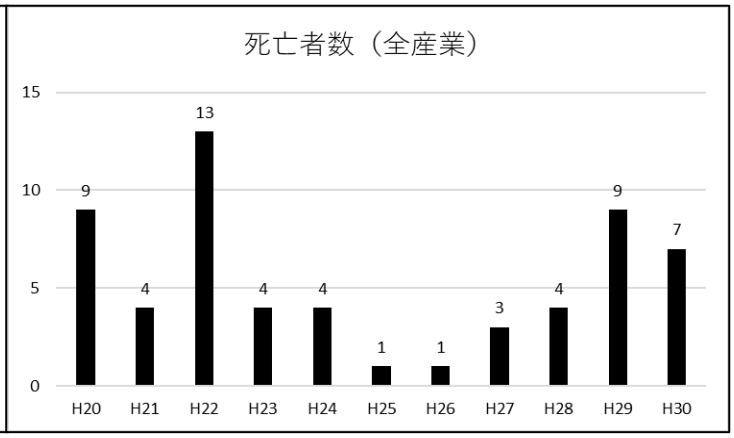
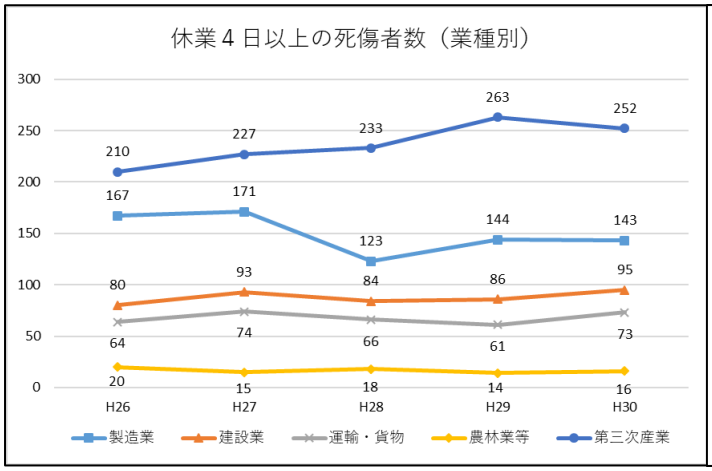
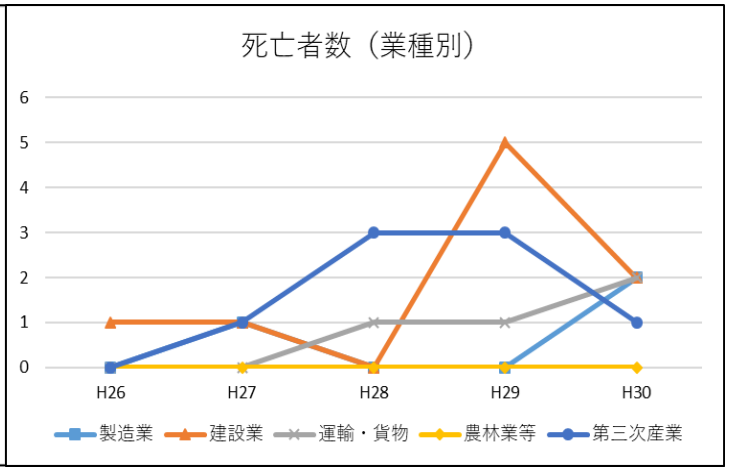
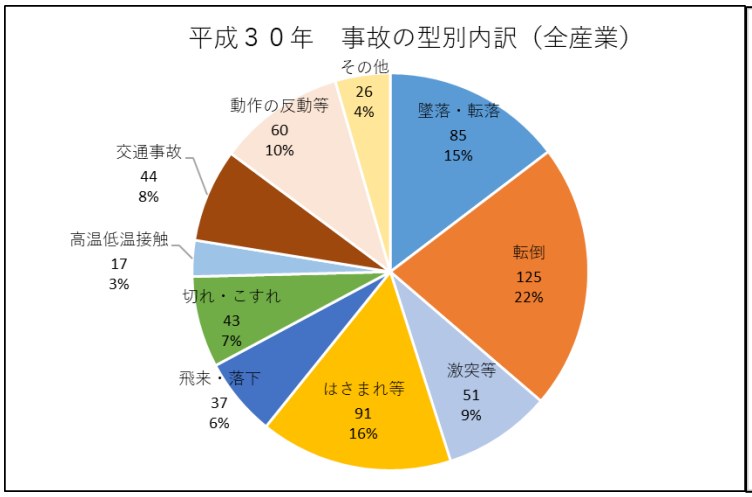
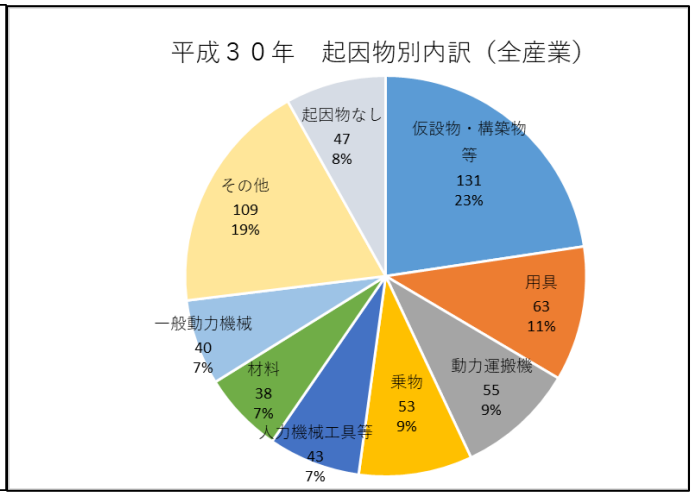
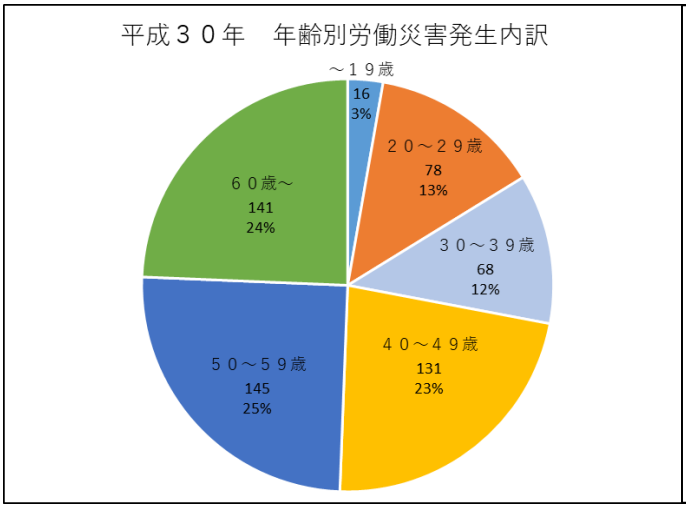
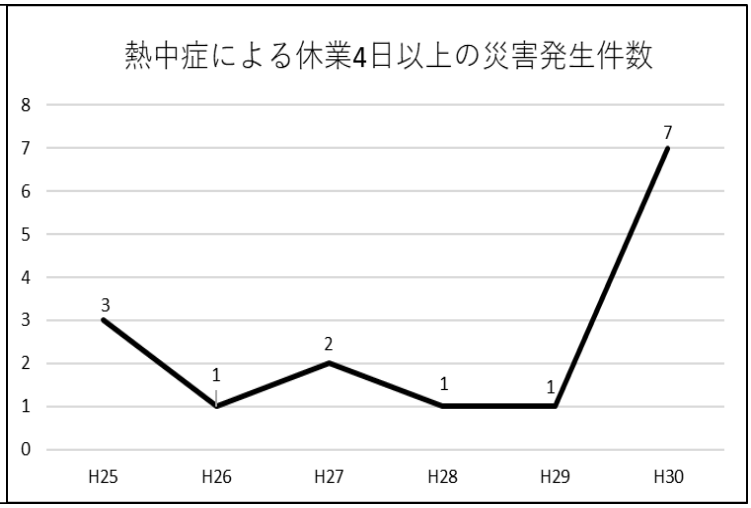
詳しくは、厚生労働省ホームページをご確認ください。

ＳＴＯＰ！熱中症　検索

●転倒災害防止対策（ＳＴＯＰ！転倒災害プロジェクト）

転倒災害は最も多い労働災害で、「滑り」、「つまずき」、「踏み外し」の大きく３種類に分けられます。皆さまの職場にも似たような危険はありませんか？転倒災害を防止することで、安心して作業が行えるようになり、作業効率も上がります。４Ｓ（整理・整頓・清掃・清潔）、転倒しにくい作業方法などに取り組みましょう！

詳しくは、厚生労働省ホームページをご確認ください。

ＳＴＯＰ！転倒　検索

津労働基準監督署管内（津市・鈴鹿市・亀山市）の労働災害発生状況